



中国情報 (INFORMATION CHINA)

2010年4月号

発行：国際ビジネス情報協同組合

新年度になりました。

組合でも3月24日に11名の研修生（女性8名、男性3名）が入国して参りました。元気いっぱいのやる気溢れる表情は非常に頼もしい限りです。

日本の国は何処に向うのでしょうか)

訳のわからない政治に振り回され、国民は翻弄され、国の借金が増えるばかり…。

これを国民1人当りにすると、赤ちゃんやお爺ちゃんお婆ちゃんも含め、約680万円（1家3人として約2000万円）もの借金があることとなります。これを解消するには、ハイパーインフレを創出するか、平たく言えば「やけ」をしないと解決できないことになっています。

ハッキリと物を言わない政治から判断すると、やはり今までの方がマシだったのか。出来ないマニフェストは絵に描いた餅ですね。経済や社会を分かっていない金持ちの2世・3世の道楽息子達が政治を取るようでは、この国も終りに近づいてきているのではないのでしょうか。

常識や法律を教える立場の「聖職であるべき先生の集団」で違法献金、月1500万円も貰っていることを知らないと言う総理、民主主義の原則「言論の自由を知らない」幹事長、何をとっても政治はお先真っ暗です。何とか国民が立ち上がり、この国を守らなければなりません。

日本経済)

ボヤキはこのくらいにして、外需頼みの日本経済は緩慢とはいえ少し上向きで、二番底は回避されたのではないのでしょうか。

中国やインドを含む新興国の好景気に支えられ輸出が拡大し、生産収益が増え、設備投資や雇用にも下げ止まり感が出てきたのが現在の状況であると考えられます。

しかし長引くデフレが続き、実感として景気が良くなってきているとは言いがたい状況で、まだこの緩慢な景気回復と言わなければならない状態が続きそうです。

このような状況の中で、製造業などの環境関連の電池や風力発電、水などのビジネス、介護や健康食品などが牽引力となっており、エコポイントも個人消費を押し上げることとなっているようです。

その一方で子供手当などの施策の効果は殆ど期待できません。

デフレ経済の中で、企業は製造コストを切り詰め、円安傾向が見られるようになり、新興国の好況あいまって輸出関連企業が回復基調にあります。

頼みの綱である新興国中国経済は、過剰な金が高級品や不動産に流れ、バブルの様相を呈しています。行過ぎた金融緩和政策を軟着陸できるのかどうか中国に問われることとなり、世界が注目するところでもあります。

西側経済圏と違い、中国は統治システムとして「共産主義」を導入している国であるので強権を発動できると考えられ、軟着陸よりむしろこれを「発展」に向かわせる政策を取ると考えられます。



中国情報 (INFORMATION CHINA)

中国不動産事情)

中国の不動産は大変値上がりしてきました。

例えば海南島では春節（2月14日）前後に不動産の価格が二倍になったと新聞報道あります。

この地域のマンションは、高価な所で1㎡100,000元（約1,400,000円）、1坪あたり（約4,600,000円）になったとのことですが、皆さん信じられますか。

Yahoo 関連のニュースには1㎡100,000元（約14,000,000円）と掲載されていますが、1元14円を140円と一桁間違っで計算し、書いていますのでご注意を。

これには中国政府も堪らず不動産価格の沈静化を計らなければと考え、温家宝首相も銀行の貸し出しを厳しくするように命令したようです。

しかし、お金に聡い中国人のこと。上に規制あれば下に対策ありでフェンドがあります。

沈静化するどころか、これらを利用しようとする人々がいます。アジアのユダヤ人と言われる浙江省の温州人が、政府の幹部と手を組み、バブルを煽って不動産価格を吊り上げ、今度は売り抜けようとしているといった話もあります。

日本人が中国で不動産投資するには、地域情報を集めつつ、極めて機敏に対処する必要がありそうです。いずれにせよ中国はハイリスク・ハイリターンの国ということです。

一般的には、沿岸部（上海、広州、大連、青島、杭州など）や北京近郊がバブル状態であり、内陸部は価格の上昇はあるものの、経済成長とある程度バランスが取れていると考えられます。

バブルは特に自動車や別荘を始め、貴金属などの贅沢品に波及しています。また不動産は更に都会から田舎へ、マンションから別荘へと向かっており、これらは中国人特有の見栄っ張りの『面子』が大きく影響しているのでしょう。

ちなみにバブルが続くのは一般的には5年と見ている人が多いようです。また、バブルでは無く「本物」であるという人もいますが、筆者は3年と見えています。その理由として、あまりにも早い経済成長は、急速な崩壊に展開すると考えられるからです。崩壊に至らなくても、沈静化することは間違いなく、崩壊するとすればバブルは始まったところから、すなわち沿岸部からです。

これにはびっくり：『時計』

先日、中国青島からお客さんが来られました。（仮名：張さん）

張さんは日本企業と提携して、ある商売を進めるために来日しました。今回初来日ということで、日本の人間ドックを受診し、その他にはたくさん買い物をしたいというリクエストを受けました。

早速人間ドック受診すべく病院を紹介したのですが、一名16万円余りを費やしました。（結果、健康そのもので何も心配無いということでした。）



中国情報 (INFORMATION CHINA)

その後、買い物に向かうべくリクエストを聞くと、『時計』を買いだいたいのこと。

中国人の好きな OMEGA や ROLEX などの高価な時計かと思い、安く買える方法を提案したのですが・・・、張さんは「700 万円～800 万円くらいの時計を友達にプレゼントしたい」と言い出しました。

中国にはお金持ちがたくさん居るし、張さんはお金持ちとは聞いていましたが・・・、これには私も驚き「責任が持てないので自分で探して買ってください。」と思わず言いました (笑)

予定もあり、張さんは東京に行かれたので、その後本当に時計を買ったか定かではありません。

観光客)

昨今、中国からの観光客が増えています。彼らにとって日本での観光は何が魅力なのでしょう。

我々が言う観光とは名所旧跡や綺麗な所を見ることですが、中国人の考える観光とは、実は買い物をすることなのです。それも電気製品や化粧品、高価なブランド品など。

その理由は、

『日本の電気製品は信用がありサービスが良く、壊れてもすぐに直してくれる。』

『中国製品はすぐに壊れ、店側は売ってしまえばあとは知らない。だから日本の製品を買う。』

これが中国人の考え方です。

我々が中国で買い物をする場合には、十分注意する必要があるようです。

化粧品をとってみても雪肌精 (KOSE) など中国でも売っていますが、日本の方が格段に安いようです。またファンケルの化粧品は人気 No. 1 で、中国と比べて日本では 30%～50%OFF の値段で買えるらしく、DHC などの健康食品やサプリメントは日本では種類が多く人気があるようです。

またブランド品は、中国では税の関係で異常に高いうえに偽物も多く、中国の富裕層の方々は中国では買わないのが通であります。特にバーバリーは種類が多く、ハンカチに至っては中国での販売が極めて少ないようです。

中国人に物の買い方

中国に滞在している、ある日本人の話です。滞在 2 年で中国語ももちろん流暢に話せます。

ある骨董品店で気に入った仏像があったので、長引く交渉の末、安く購入できたそうです。

あまりの安さで買えたことに大喜びし、自己満足しながら帰宅したのですが、家で商品を取り出して見てみると、仏像は仏像でも、先ほどの仏像とは全く違ったものが入っており大激怒。店に戻って店員に問いただすと「あなたが買ったのはこれです」としか取り合ってくれません。

騙されたのです。永い間中国にいてもこんなことがあるのですね。

中国のお店で買い物をする場合、中国人は買った品物が袋に入っているかどうか、例えば新品でもその中身まで確かめています。



中国人と日本人の違い

今回から中国人の特徴、日本人との違いを私なりの考え方でお話しします。
研修生の受入れや企業の中国進出などの際に頭の片隅においてください。

自己主張)

中国人は自己主張が激しく、面子との兼ね合いで日本人は戸惑うことがあります。

日本で何かをつくる場合、会社内のマニュアルなどに従って製造作業しています。マニュアルという取り決めにより、均一の製品が出来上がります。

一方、中国人は直線的で、結果が良ければ全て良しとし、経過は不必要で自分のやり方が一番良いと考えます。そうすると、独自のやり方（日本人にとっては勝手な方法）で作業を進めようとします。

会社のやり方を手取り足取り説明し、ようやく出来るようになっても、目を離すとまた独自のやり方が出てきます。

こんな場合、幾つかの改善方法があります。

- ① 中国人は何よりも面子を大切にするので、先ず人前であまり怒らないことです。社員の皆さんが居ないところで、個別に怒ることが大切です。
- ② 自分のやり方が一番良いと信じて、他人の言うことを理解しようとしめない傾向があります。この場合、最終的には「会社の言うことを聞くか会社を辞めるか選べ」などと高圧的な手段をとることも必要な場合もあります。しかし、烈火のごとく怒ったことで、初めて理解しようとする傾向もあるのです。

こういった問題は中国へ進出した企業であれば必ずあるものですが、それではなぜ彼等は言われたとおりにしないのでしょうか。

我々日本人は、新入社員として入社した時は「指示されれば従うものである」という意識がありました。しかし、中国人的考え方の一つには『言われたとおりにすることは無能の証明である』と考えている節があります。逆に言えば、『指示通りにしないことが正しい』と考えているのです。その上に、多くの人前で叱られると面子が潰れるから従わないのです。

しかし仕事をスムーズ運ぶためには、最初徹底的に話をし、指示通りにさせることが大切です。

中国人は『結果』を大事にする傾向があり、日本人は『経過、過程』を大事にします。



お金が全てか?)

中国は長い歴史の間、繁栄と崩壊、内乱を繰り返してきました。正に戦争の歴史が中国の歴史と言っても過言ではありません。中国人の歴史観は現在でも通用しています。

何時戦争が起こるかも知れないという恐怖心が、長期的な視野考えることよりも『今のお金が大事である』と考えます。このことで、お金のために主張や態度を変えることがあります。

中国人社員（研修生を含め）は、長期的に技術を取得することや、他人を信頼することは全くの不得意であります。

今を生き抜くためにはお金が要る。中国は人口も多く政治も悪い、年金も無ければ企業に勤めても将来に不安があります。若い頃に独立するためにはやはりお金が必要です。だから中国人に長期的な視野で物事を運ぶことを期待することは難題なのです。

私たち組合では)

中国人の悪いところばかりを書きましたが、私たちの組合ではこれらの難題を解決すべく、研修生が日本に来る目的を『お金』だけではなく、『日本の技術』などを取得させるべく組合と中国の送出し機関と連携し、日本人的な考え方を徹底的に教育しています。

オモシロ知識)

中国では何もかもが大袈裟です。

中国の言葉に「駿馬 1 日千里走る」(良い馬が 1 日に約 4 千キロメートルを走る)とか、「白髪三千尺」(髪が約 9,900cm)なんて言葉にあるとおり、とにかく何でも大袈裟です。(商売においても同じ)

例えば、「南京大虐殺で 30 万人殺された」などと聞くことがありますが、当時の南京の人口は 20 万人だったり…。

孔子の修行の場にて)

済南市（中国山東省の省都）から車に揺られ泰安市に着きました。ここは、かの有名な孔子の生誕地で、近くには泰山という山が聳え立ちます。

孔子が生まれたのは、紀元前 551 年春秋時代に貧しい家庭に生まれ、その後、儒教の体系化をした人物で、知っている孔子は論語に象徴されます。

孔子は 2 m 以上の大男で、その子孫は 200 万人いると言われおり、世界の王族以外ではギネスに一番長い系図として登録されています。



中国情報 (INFORMATION CHINA)

孔子の教えの中で代表的なのは、

	子曰から始まる
	吾十五にして学に志し三十にして立つ
	四十にして惑わず、五十にして天命を知り、六十にして耳に従う
	七十にして心の欲する所に従って矩を踰えず

さて、この山に登るには歩いて登るほか、車やロープウェイで登る方法があります。

車で行きましたが途中の料金所は、お金を払わず通過できたのを覚えています。(山東省政府の方に同行して頂いたため、こんなこと日本では考えられないですね)

途中からは徒歩になるのですが、この途中で驚かされたことがありました。

K君：「これを料理に少々入れて食べれば、非常に美味しくいただけます。」

私：「何で？頭がおかしくなるんじゃ？」

K君：「感情の起伏は激しくなり、美味しいものはもっと美味しく、悲しいし人はもっと悲しくなる」

私：「持っていくとどうなる？罪にはならないのかな？」

K君：「絶対にそれはダメです。警察のご厄介になりますよ (笑)」



人が歩いている、道路の傍にたくさんのマリファナが生えているのが写っていますが、現地の中国人は驚きもせず通り過ぎて行きます。孔子の修行の山にマリファナがこともあろうとはビックリでした。



中国情報 (INFORMATION CHINA)

外国人研修制度による研修生を受け入れるのも、中国をはじめ、世界を知る絶好のチャンスでもあると考えております。

先月 24 日、私たちの組合へ 11 名の若い研修生たちが来日しました。

これから約一ヶ月間の集合研修（日本に風土に慣れるための研修）を行った後、各受入れ企業様へ送り出します。今のこの期間中、できるだけ多くの方に研修生と触れてもらうため、見学会を実施しております。「百聞は一見にしかず」です。是非お越し下さい。

事前にご連絡いただければ、組合スタッフのご案内致します。

また、今年 7 月から入管法が法改正され、同時に外国人研修制度も変わります。私たちの組合でも、さらに、今後も優秀な研修生を企業に送出致します。

【投稿募集します！】

中国に関する情報、ご意見、相談、自慢話等々、どんな内容でも結構です。貴方からのご投稿お待ちしております。匿名やペンネームでも OK です。

投稿先：info@ibia.or.jp

組合ホームページ：<http://ibia.or.jp/>

組合スタッフのブログ：<http://ibia.blog6.fc2.com/> コツコツ更新中！